

公益財団法人8020推進財団

令和5年度 歯科保健活動助成事業報告書 [抄録]

1. 事業名：東久留米市内の保育園における口腔衛生指導
2. 申請者名：一般社団法人東京都東久留米市歯科医師会 会長 小玉 剛
3. 実施組織：一般社団法人東京都東久留米市歯科医師会 公益社団法人東京都歯科衛生士会 東久留米市役所
4. 事業の概要： 幼いころから良い生活習慣を身に着けることは大切です。歯みがきを通じて歯科疾患の予防に関する適切な習慣の定着を図り、併せて良い食習慣・生活習慣を身に着けてもらうことを目的とします。8020達成への初めの一步として、乳幼児期から歯の健康の大切さを体験してもらい、生涯における口腔の健康に対して家庭での気づきになればと考えます。東久留米市内のすべての公立保育園および希望する保育園を対象にお口の健康の大切さを伝えます。
5. 事業の内容： 東久留米市内の全ての公立保育園5園および公設民営保育園2園および市内にて希望する民営保育園2園において口腔衛生指導を行った。合計9園で予定通り9月中に実施し、東京都歯科衛生士会から派遣された歯科衛生士と本会より派遣の歯科園医および園のスタッフとが協力して、歯の健康の大切さを伝えることができた。令和5年7月13日には東久留米市役所子ども家庭部子育て支援課・保育園看護師会・本会・東京都歯科衛生士会の担当者による事前の打ち合わせを行い、感染対策しながら、3歳から5歳児までの3年齢を対象とした指導を行うこととした。指導当日には、3年齢を対象にして、歯科園医・歯科衛生士によるパネルシアターを行った。ここでは、歯ブラシの大切さ、生活のリズムを整える大切さを伝えた。3つのお約束として、食べることに関する良い習慣・悪い習慣を伝えた。さらに、5歳児クラスのみ、歯ブラシ指導として、ひがしくん（説明用顎模型）を使用して歯科衛生士が歯ブラシの当て方、磨く順番、磨く時間の目安を説明した。その際本会推奨の歯ブラシを提供して、歯ブラシを実際に手にもってもらい持ち方の練習を行った。なお歯ブラシを使用しているときにしてはいけないことをタペストリーを用いて説明した。事前の打ち合わせにより本年度も新型コロナウイルス感染症予防に配慮して、染め出しおよび歯みがきの実践は行わなかった。よって本年度は上記のように園医・歯科衛生士が正しい磨きかたなど、模型上で丁寧に説明した。家庭ではアンケートをお願いして、子供のお口の健康にどんな関心があるのかを調査した。令和6年1月18日には東久留米市歯科医師会、東京都衛生士会、東久留米市家庭部子育て支援課、看護師会が対面にて本年度反省会および次年度に向けての反省会を行った。
6. 実施後の評価（今後の課題）： 新型コロナウイルス感染症の影響を受けて理想的な指導が行えたとは言えないが、3年齢を対象に指導を実施できたことは評価できることと思う。今後も感染症の状況に応じた対応が不可欠ではあるが、引き続き次年度も3歳児4歳児5歳児を対象に口腔の健康の大切さを伝えていくことを検討する。また、本年度実施できなかった染め出しと実際の歯ブラシ指導を行えるように準備だけは整えて事前協議を行う予定である。やはりマスク越しの説明では伝わり方が不十分な面があるため次年度は全面的にマスクなしの状態で見守りに歯磨きの大切さやじっくりと自分のお口の中を観察することを実践できるように園側とも十分に協議して準備する予定である。